

論文問題冊子

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、2題で90分です。試験問題1～6のうち、2題を選択してください。
3. 会計学の指導教員を第1希望とする場合は、問題5、6(会計学分野)の中から1題は選択してください。
4. 試験問題についての質問は、受けつけません。
5. 試験開始後ただちに解答用紙の中の受験番号記入欄に受験番号と、問題番号記入欄に問題番号を誤記のないように記入してください（氏名は記入しないでください）。
6. 解答用紙1枚につき、1題解答してください。1枚の解答用紙に複数の問題を解答した場合、無効になります。また、解答用紙には裏面もありますが、1題につき、解答用紙1枚で収めるようにしてください。
7. 解答は、日本語で行ってください。
8. 問題冊子・解答用紙に汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 1

競争地位 (competitive position) の4つの類型を示した上で、それぞれの定石的な競争行動について、経営戦略における市場シェアの持つ意味を踏まえながら議論しなさい。

↳

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学

問題番号 2

組織に関わる以下の問いに答えなさい。

- (1) 「機能別組織」と「事業部制組織」とを比較し、それぞれがどのような特徴を持ち、どのように異なる組織であるか、について説明しなさい。
- (2) 「事業部制組織」を導入した企業には、導入に伴うメリットとデメリットの双方がもたらされる傾向があるとされる。そこで想定されるメリットとデメリットについて論じなさい。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 3

以下の2問すべてについて解答せよ。

1. 確率変数 X が期待値 2、分散 4 の正規分布、確率変数 Y が期待値 -5、分散 25 の正規分布に従うとする。また、確率変数 X と Y の共分散は -3 であるとする。
 - (1) $5X + 3Y$ はどのような分布に従うか答えよ。導出過程についても記述すること。
 - (2) $\text{Var}(7X) + E[2Y] - E[4X] + \text{Var}(2Y)$ の値を求めよ。計算過程についても記述すること。
 - (3) $\text{Var}(4X - 3Y)$ の値を求めよ。計算過程についても記述すること。
2. 標本 $(x_1, y_1), (x_2, y_2), \dots, (x_n, y_n)$ に対して、以下の回帰モデルを考える。

$$y_i = \beta_0 + \beta_1 x_i + u_i, \quad i = 1, 2, \dots, n$$

ただし、 u_i は誤差項とする。また、以下の値が得られたとする。

$$n = 30, \quad \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2 = 400, \quad \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})y_i = 900$$

ただし、 \bar{x} は x の標本平均とする。

- (1) x の不偏分散の値を求めよ。計算過程についても記述すること。
- (2) 上記の回帰モデルを OLS 推定し、 β_1 の OLS 推定値 $\hat{\beta}_1$ を求めよ。計算過程についても記述すること。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 4

以下の問いにすべて解答しなさい。

- (1) 大数の法則とは何か説明せよ。
- (2) 統計モデルにおける尤度とは何か説明せよ。
- (3) 多重共線性について、データ解析の具体例を挙げて説明せよ。
- (4) AIC (Akaike's Information Criterion) について、データ解析の具体例を挙げて説明せよ。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 5

次の(1)及び(2)に答えなさい。

- (1) 会計基準が社会的規範として必要となる理由を説明しなさい。
- (2) 棚卸資産に係る払出単価の決定方法である「先入先出法」と「後入先出法」について、それぞれいかなる方法であるのか、そしてインフレーション(物価上昇)時を前提として両者の比較のもと、売上原価及び期末棚卸高への影響を説明しなさい。
加えて、日本の会計基準及び国際財務報告基準において、後入先出法の適用が禁止されていることについて、自らの考えをその理由とともに述べなさい。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 6

原価計算は「複式簿記と結合して常時継続的に記録計算が行われるか否か」という視点から分類することができる。その分類を列挙し、内容を説明しなさい。